



SAFE COMMUNITY TOWADA

十和田市セーフコミュニティ 全体概要

令和6年8月5日（月）
十和田市セーフコミュニティ推進懇談会
事務局 川村 斉
（十和田市民生部まちづくり支援課長）



1

・十和田市の概要

2

- ・セーフコミュニティの歩み

3

- ・6つの指標に基づく取組

4

- ・セーフコミュニティの啓発活動

5

- ・セーフコミュニティ活動の成果・効果

6

- ・課題と今後の方向性

十和田市の概要① 位置・面積・人口等

■位置：青森県南地方内陸部

■面積：725.65km²

■人口：58,471人

■世帯数：28,176世帯

出典：住民基本台帳（2023年9月末現在）

■人口動態



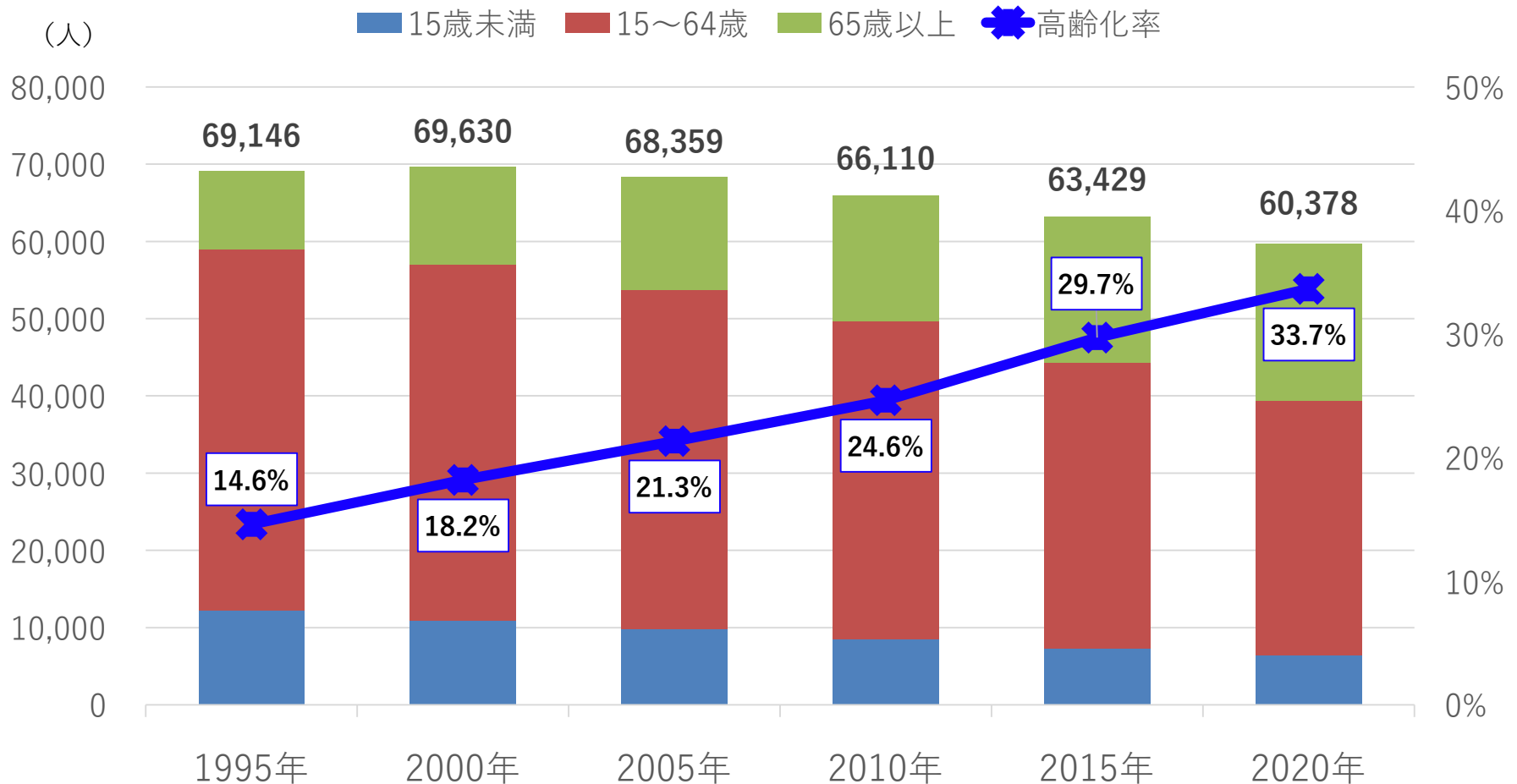
区分	自然動態(人)			社会動態(人)		
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減
2023年	278	952	▲589	1,729	1,751	▲22
2018年	376	830	▲454	1,792	1,917	▲125

出典：住民基本台帳

十和田市の概要② 年齢3区分別人口と高齢化

人口減少と高齢化が進行

■十和田市の人口と高齢化率



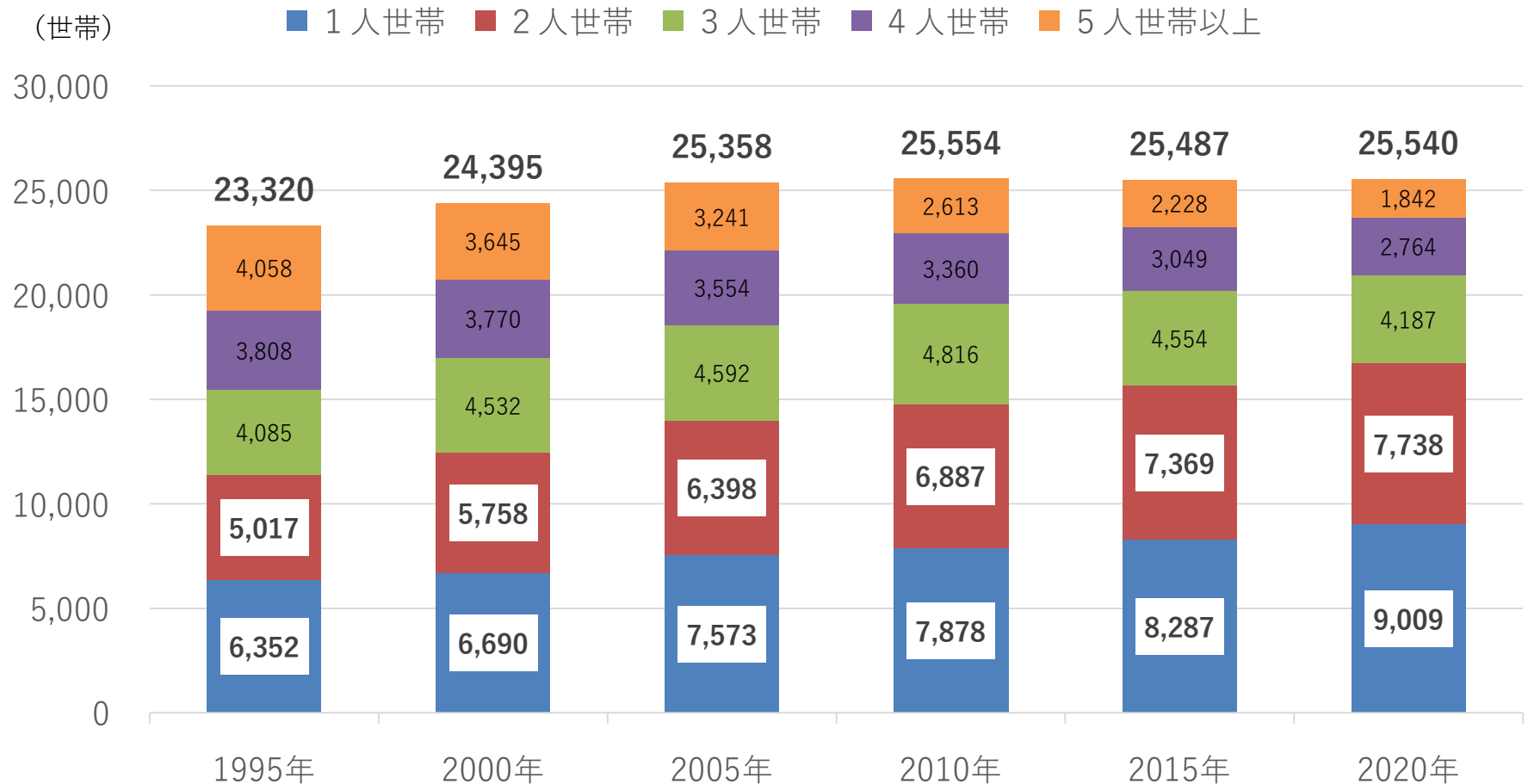
出典：国勢調査

※2005年に（旧）十和田市と十和田湖町が合併。2000年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの

十和田市の概要③ 十和田市の世帯数

世帯数は増加。1人世帯と2人世帯が増えている。

■十和田市の世帯数



出典：国勢調査

※2005年に（旧）十和田市と十和田湖町が合併。2000年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの

十和田市の概要④ 土地利用面積・気温等

■土地利用面積（2022年1月1日現在）

全体	山林	田	畑	宅地	牧場・原野	雑種地	その他
725.65km ²	57.0%	12.1%	4.3%	2.9%	2.4%	1.4%	19.8%

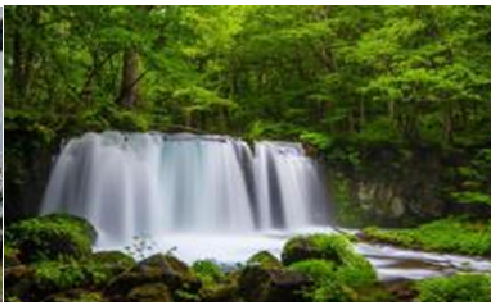
出典：固定資産概要調書



■平均気温と雨（雪）量（2022年）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温（℃）	-1.5	-0.9	3.9	10.6	15.6	18.1	22.1	22.4	20.6	13.2	8.6	0.9
降水量（mm）	28.5	20.5	65.5	36.0	19.5	96.0	104.5	288.5	83.5	36.5	30.5	56.5

出典：十和田地域広域事務組合消防本部



十和田市の概要⑤ 医療機関・教育機関等

■医療機関（2023年）

病院					一般診療所		歯科診療所
施設数	病床数	うち精神病棟	うち感染症病床	うち一般病床	施設数	病床数	施設数
5	978	(539)	(4)	(435)	41	71	20

出典：青森県保健統計年報（病床数は10万人対）

■教育機関（2023年）

区分	小学校	中学校	高等学校	各種学校	大学
教育機関数	14	*10	3	1	1
児・生徒数	2,603人	1,535人	1,566人	32人	1,236人

出典：学校基本調査 *休校を含む

■幼稚園・保育施設（2023年）

区分	幼稚園	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業	認可外保育所
施設数	2	16	11	1	1
園児数	73人	863人	805人	11人	2人

出典：こども支援課

十和田市の概要⑥ 産業

■15歳以上の就業者割合（2020年10月 1 日現在）

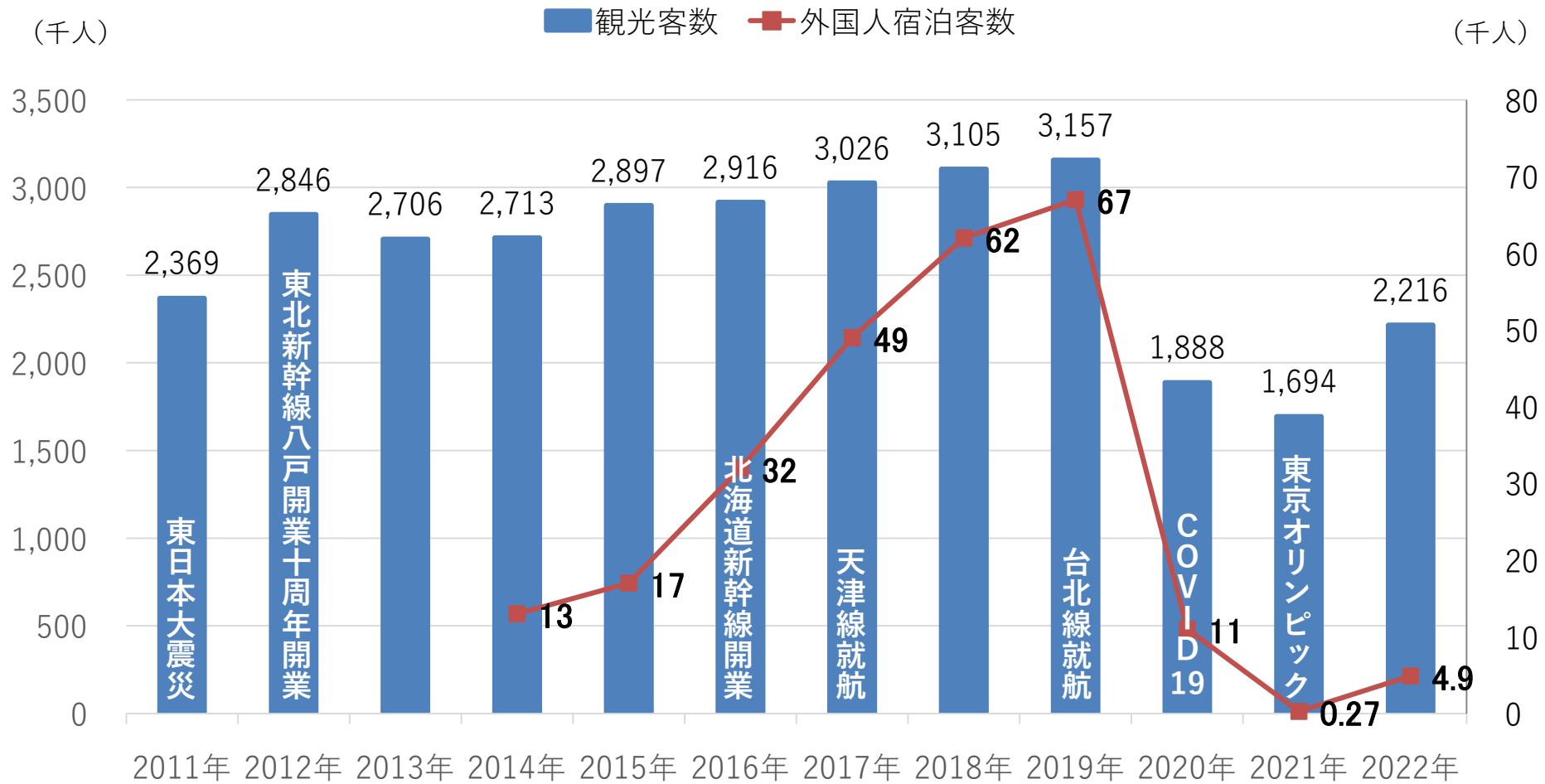
出典：国勢調査

区分	業種	割合	十和田市	全国
第 1 次産業	農業	11%	12%	3%
	林業	1%		
第 2 次産業	建設業	11%	22%	23%
	製造業	11%		
第 3 次産業	卸売業・小売業	15%	63%	67%
	医療福祉	15%		
	宿泊業・飲食サービス業	5%		
	教育・学習支援業	5%		
	サービス業	5%		
	生活関連サービス・娯楽業	4%		
	公務	4%		
	運輸業・郵便業	3%		
	金融業・保険業	2%		
	学術研究・専門・技術サービス業	2%		
	その他	3%		
分類不能		3%	3%	7%



十和田市の概要⑦ 観光

■十和田市内への観光客の入込数（2011年～2022年）



十和田市の概要⑧ 広域行政等（関連分野）

■ 上十三・十和田湖広域定住自立圏

[構成] 十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、
横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、
秋田県小坂町（10市町村）

■ 十和田地域広域事務組合消防本部

[構成] 十和田市、六戸町

■ 十和田警察署

[管轄] 十和田市、六戸町
（十和田地区）



十和田市の主な歩み（2019年の認証③以降）

年	内容
2020年	▶市、十和田警察署、市内郵便局、事業者と安全安心見守り活動に関する協定を締結
2021年	▶県立三本木農業恵拓高等学校が開校（上北地域統合校） ▶市と青森放送(株)が地域防災パートナーシップ協定を締結 ▶明治安田生命保険（相）と包括連携協定（健康づくり等）
2022年	▶まちなか交通広場、地域交流センター「とわふる」オープン ▶市と(株)青森テレビがSDGs推進に関するパートナーシップ協定を締結
2023年	▶大深内小・中学校が開校（上北管内初となる小中一貫教育校） ▶交通死亡事故ゼロ2年達成による県知事表彰を受賞 ▶市と町内会連合会と宅建協会、不動産協会と町内会への加入促進に関する協定を締結 ▶十和田湖地域が環境省の国立公園の先端モデル事業候補地に選定
2024年	▶市犯罪被害者等支援条例が施行 ▶国立大学法人弘前大学と包括連携協定を締結 ▶熱中症予防対策として郵便局と連携して市内30カ所に「涼み処」を開設

1

- 十和田市の概要

2

• セーフコミュニティの歩み

3

- 6つの指標に基づく取組

4

- セーフコミュニティの啓発活動

5

- セーフコミュニティ活動の成果・効果

6

- 課題と今後の方向性

セーフコミュニティ導入の経緯

■十和田市における長年の課題

自殺死亡率が高い、交通事故が多発している。

2009年に初めてセーフコミュニティの認証を取得した当時は、自殺死亡率が県内最多、交通事故発生率が県下ワースト1位

■十和田市の特徴

市民ボランティアによる活発な保健活動

自殺・事故・暴力などによる外傷や脅威に対し、予防プログラムの策定、

モニタリングによる公衆衛生的アプローチで実践する

新しいまちづくり＝セーフコミュニティ

の導入を目指す

セーフコミュニティ 認証都市としての歩み

年 月	内 容
2004年7月	保健所等の研修会や講演会をとおり、市民のセーフティプロモーションへの関心が高まる
2005年8月	上十三保健所長が市長にセーフコミュニティについて説明
2005年10月	保健、福祉分野の担当者、市民ボランティアによる勉強会がスタート
2007年1月	市民ボランティア「セーフコミュニティとわだを実現させる会」が結成
2007年4月	市長(当時)がセーフコミュニティの認証取得を表明
2008年8月	青森県立保健大学との協定締結
2009年8月	セーフコミュニティ国際認証を初取得(全国で2番目)
2011年11月	全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議加入
2012年8月	8月を十和田市いのちを守る運動月間とする
2013年6月	外傷サーベイランス懇談会の設置
2015年2月	2回目のセーフコミュニティ国際認証を取得
2020年2月	3回目のセーフコミュニティ国際認証を取得
2023年3月	市長が4回目の認証取得を目指すことを表明

2007年1月に設立された「セーフコミュニティとわだを実現させる会」は名称変更し、現在も十和田市のセーフコミュニティのけん引役として活躍しています。



1

- 十和田市の概要

2

- セーフコミュニティの歩み

3

- **6つの指標に基づく取組**

4

- セーフコミュニティの啓発活動

5

- セーフコミュニティ活動の成果・効果

6

- 課題と今後の方向性

6つの指標に基づく取組



指標	内容
1	Governance - ガバナンス -
2	Surveillance - サーベイランス -
3	Inclusivity and Sustainability - 包括性・持続性 -
4	Vulnerable Groups - 脆弱集団 -
5	Evaluation - 評価 -
6	Network - ネットワーク -

市の政策に位置付けるセーフコミュニティ

第2次十和田市
総合計画



市の最上位となる十和田市総合計画に、安全・安心なまちづくりの手段として、セーフコミュニティを推進していくこととしています。

基本目標5

地域で助け合い、災害に強く犯罪のない、安全・安心なまち（安全・安心）

施策19 安全・安心な暮らしの確保

[目的]

犯罪意識の高揚に取り組むとともに、交通安全対策、各種相談体制の充実を図り、**事故やけがは予防できるというセーフコミュニティの理念**のもと、多様な主体との連携・協力により、安全で安心して暮らすことができるまちづくりを推進する。

[基本事業]

- ◆地域の安全対策の推進
- ◆交通安全対策の推進
- ◆事故や犯罪を未然に防ぐ環境整備
- ◆青少年の健全育成



セーフコミュニティの推進体制

推進懇談会（座長 十和田市長）

検討委員会（庁内課長級で構成）

外傷サーベイランス懇談会

助言、
情報提供

活動報告

活動確認、助言、情報提供

サポート

領域別対策部会

① 子どもの安全	② 高齢者の安全
③ 自殺予防	④ 交通事故予防
⑤ 防災	⑥ 暴力・虐待予防
⑦ 余暇活動の安全	⑧ 労働の安全

活動報告

活動報告

外部アセスメント

活動報告

日本セーフコミュニティ推進機構（外部評価）

推進懇談会の構成（26組織33名）

①安全・安心のための地域活動を行う団体の構成員

- ・十和田市町内会連合会,十和田市民生委員児童委員協議会,十和田市連合P T A,十和田市交通安全協会,十和田市老人クラブ連合会,十和田市連合婦人会,青少年育成十和田市民会議,とわだセーフコミュニティをみんなですすめ隊

②地域の安全・安心の確保に関し、識見を有するもの

- ・十和田商工会議所,十和田市議会,十和田おいらせ農業協同組合,N P O 十和田国際交流協会

③保健、福祉及び医療関係者

- ・十和田市立中央病院,十和田地区医師会,十和田市歯科医師会,十和田市社会福祉協議会,青森県薬剤師会上十三支部

④教育関係者

- ・北里大学獣医学部,十和田市教育委員会,十和田市校長会

⑤関係行政機関の職員

- ・十和田労働基準監督署,上北地域県民局,上十三保健所,十和田警察署,十和田地域広域事務組合消防本部

⑥セーフコミュニティに関わる部長級の市職員

- ・総務部長,企画財政部長,民生部長,健康福祉部長,建設部長,農林商工部長,教育部長

セーフコミュニティ推進組織の会議の開催

	①推進懇談会	②検討委員会	③外傷サーベイランス懇談会	④領域別対策部会
2019年	9月	8月	7月	全体会議 4、8月 個別部会 4～1月
2020年	12月	7月	10月	部会長会議 7、10月 個別部会 6～2月
2021年	12月	6月	11月	個別部会 7～12月
2022年	8月	6月	11月	全体会議 6月 個別部会 6～3月
2023年	9月	6月	1月	全体会議 5月 部会長会議 8月 個別部会 5～3月
2024年	4月			個別部会 5月～



①推進懇談会



②検討委員会



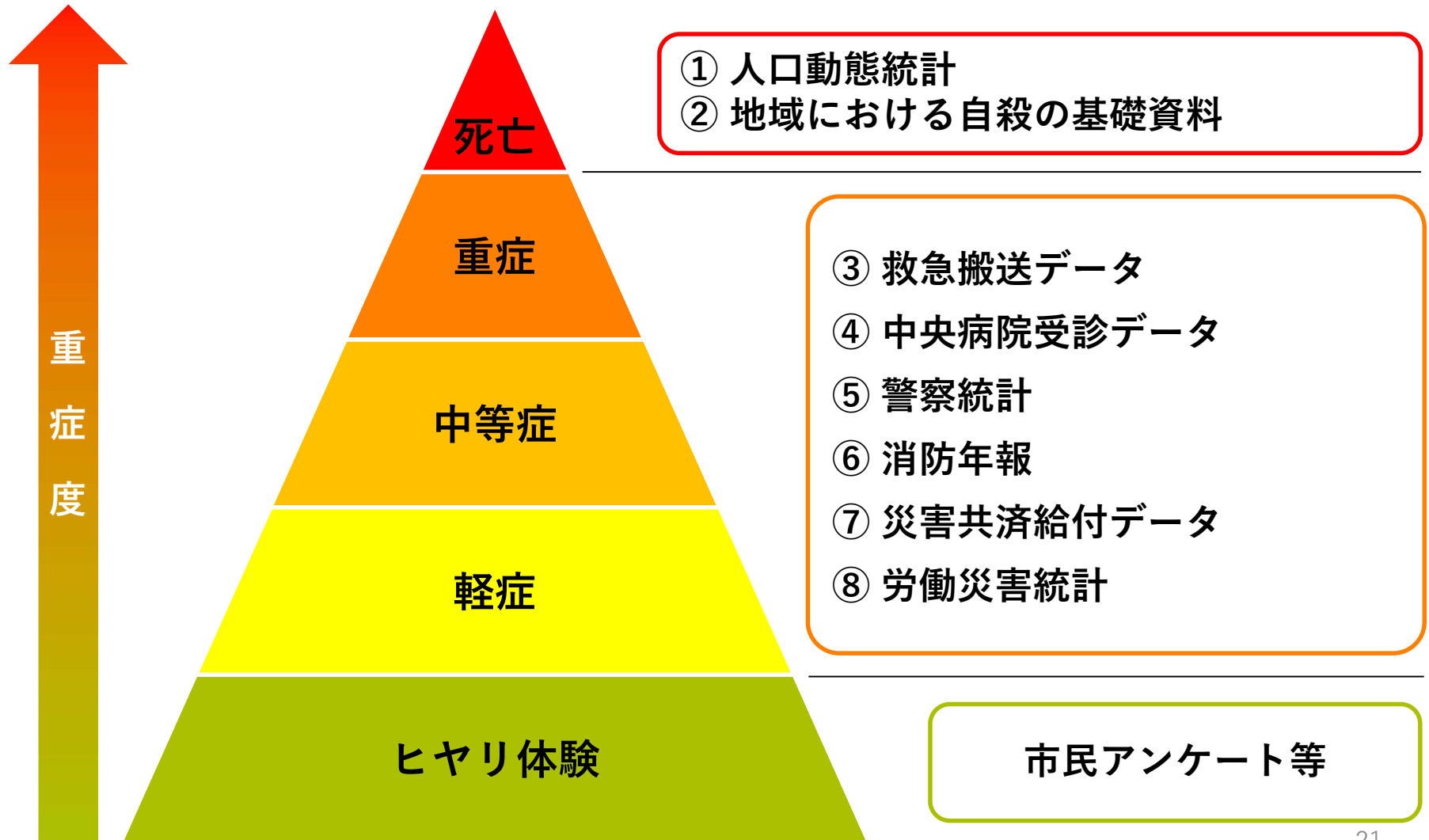
③サーベイランス懇談会



④対策部会

【指標 2】 Surveillance -サーベイランス-

■ データの収集



【指標 2】 Surveillance -サーベイランス-

■データの収集

領域		選 定 し た 理 由
1	子どもの安全	・若い世代は受傷率が高く、特に0～4歳の受傷率が高い。 ・事故のほとんどを占める一般負傷は、自宅（屋内）で発生している。 ・小学校管理下内における外傷の約半数は休憩時間に発生している。
2	高齢者の安全	・高齢化が進んでいる。 ・外的要因による高齢者の死亡原因は、「窒息」「溺死及び溺水」「転倒・転落」が多い。 ・高齢者の受傷率は高く、年齢とともに高くなる。 ・高齢者の受傷は、中等症以上の割合が高くなる。 ・事故の多くを占める一般負傷は、自宅（屋内・屋外）で発生している。 ・高齢者の単身世帯が多くなっている。 ・不安や悩みを抱える高齢者が多い。
3	自殺予防	・国や県と比較して自殺死亡率が高い。 ・自殺の原因・動機は「健康問題」が最も多く、「家庭問題」「勤務問題」による自殺も増えている。 ・自殺死亡者のうち、同居人ありの割合が、国や県より高く、身近な人の自殺の兆候に気づけていない。 ・自殺は男性に多く、幅広い世代で多い。 ・高齢者の自殺者が増加してきている。

【指標 2】 Surveillance -サーベイランス-

領域		選定した理由
4	交通事故 予防	・時間帯は薄暮から夜間に発生している。 ・反射材をつけている人が少なく、その多くが反射材を持っていない。 ・交差点での人身事故の発生が半数以上を占めている。
5	防災	・毎年、火災による死傷者が発生している。 ・年々高齢化が進む中で、災害も発生しており、備えが重要となる。
6	暴力・ 虐待予防	・子どもや高齢者、障がい者への虐待、女性への暴力が発生している。 ・市民に暴力や虐待と認識がされていないものがある。 ・虐待を受けたと思われる乳幼児や高齢者を発見した場合でも、相談・通報をしない人が多い。
7	余暇活動 の安全	・運動・競技中によるけがは10代に多く、学校や公共施設で発生している。 ・救急時に備え、誰もが救命講習会に参加しておく必要がある。 ・外国人旅行者の増加に伴い、言葉がわからない中で緊急事態への対応を図る必要がある。
8	労働の 安全	・就業者割合の高い業種（製造業、商業、建設業）で労働災害が多く発生している。 ・受傷原因は「転倒」によるものが多い。 ・農作業中によるけがは60歳以上に多い。 ・農業機械や器具による事故が多い。



領域別対策部会による取り組み

【指標3】 Inclusivity and Sustainability - 包括性・持続性 -

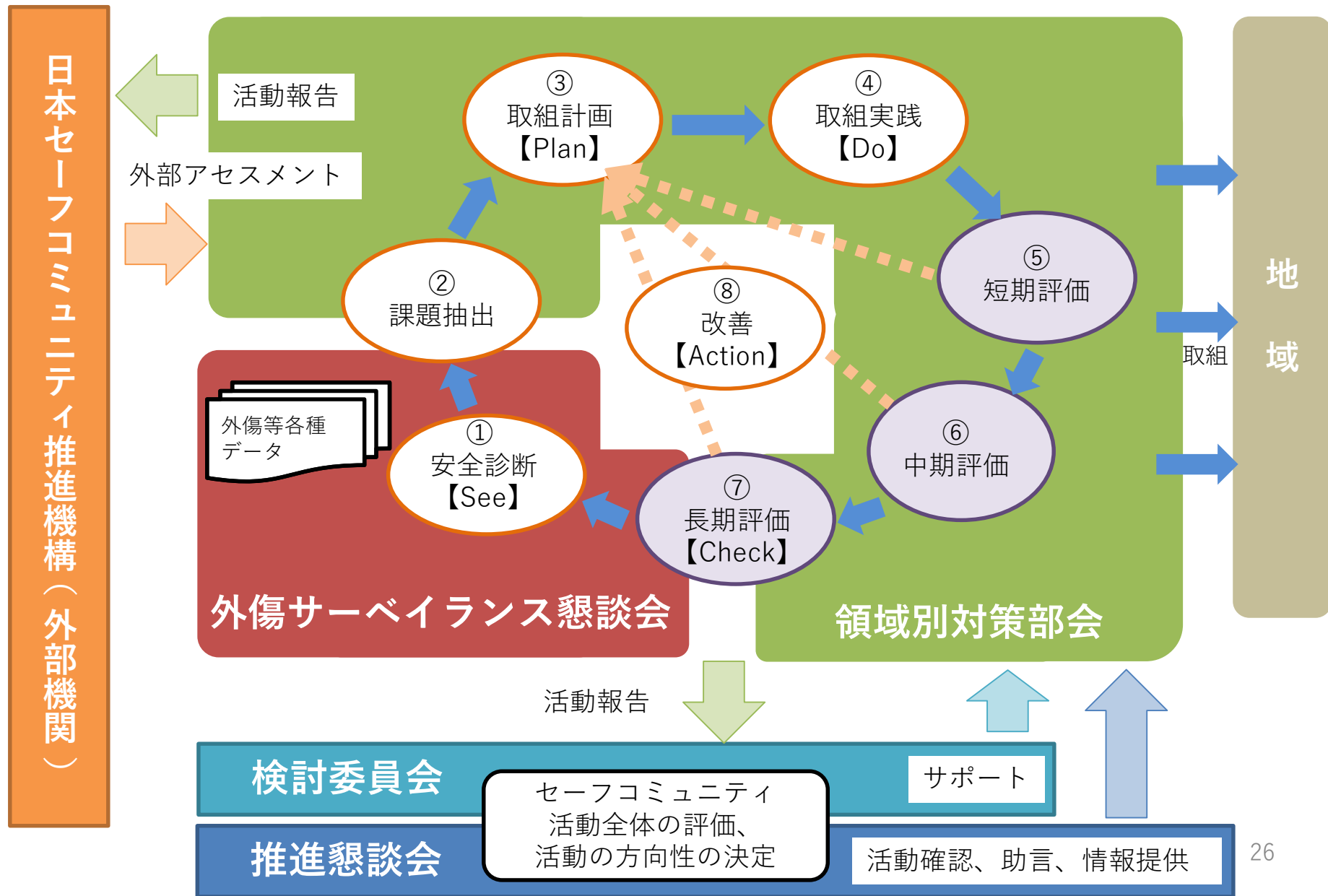
安全の分類		子ども 【0～14歳】	青年 【15～24歳】	成人 【25～64歳】	高齢者 【65歳以上】
故意の要因	家庭内				
	公共の場	交通			
		学校			
		余暇・運動			
		医療			
	防災と災害対応				
	労働				
意図的要因	暴力・虐待				
	自殺予防				

別紙参照

【指標4】 Vulnerable Groups - 脆弱集団 -

	ハイリスク（ヒト、場所等）	予防活動
1	自殺未遂者	・ 早期治療につなげる専門医療との連携
2	虐待を受けている子どもや高齢者	・ 十和田市要保護児童対策協議会 ・ 高齢者虐待防止相談支援
3	障がい者を有する人	・ 避難行動要支援者支援事業 ・ 十和田市障がい者支援協議会 ・ 福祉避難所の開設
4	外国人（居住者及び旅行者）	・ 多言語生活情報（4カ国語）の提供 ・ 災害に関する情報の紹介 ・ 案内表示の多言語化のための費用等の助成
5	転倒等による受傷者の割合が高い高齢者	・ 介護予防体操（いきいき体操） ・ 地域介護予防教室（地域いきいき教室）
6	交通事故多発交差点	・ カラー舗装 ・ コリジョンコース現象防止のポールの設置 ・ クロスマーク塗装

【指標5】 Evaluation -評価-



【指標6】 Network ー ネットワークー

年	内 容	参加状況
2021年	【現地審査】 山梨県都留市、神奈川県厚木市	オンライン視聴
	【会議】 全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議	オンライン参加
2022年	【現地審査】 東京都豊島区、福島県郡山市	オンライン視聴
	【事前審査】 大阪府松原市、福岡県久留米市、京都府亀岡市（国内認証）	オンライン視聴
	【会議】 全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議	オンライン参加
2023年	【学会】 日本市民安全学会セーフコミュニティとNEXT市民安全	参加
	【現地審査】 大阪府松原市	視察
	【現地審査】 福岡県久留米市、京都府亀岡市（国内認証）	オンライン視聴
	【認証式典】 大阪府松原市、京都府亀岡市	参加
	【会議】 セーフコミュニティ安全安心のまちづくり全国協議会	オンライン参加

【指標 6】 Network ー ネットワーク ー

■ J I S C 主催の研修会・定例会

区分	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
研修会	参加	オンライン参加	オンライン参加	参加	参加
定例会	十和田市開催	すべてオンライン参加			



■ 認証自治体との意見交換会

2024年5月に秩父市と推進組織の会議の進め方や対策部会の活動内容などについて話し合いを行う。



【指標 6】 Network – ネットワーク –

■第10回アジアSC会議・第25回世界SC会議 2022年10月

- ・ワークショップにオンライン参加
- ・ポスターの提供

■2024年韓日セーフコミュニティ交流 2024年7月に光明市、金海市、順天市を訪問



1

- 十和田市の概要

2

- セーフコミュニティの歩み

3

- 6つの指標に基づく取組

4

- セーフコミュニティの啓発活動

5

- セーフコミュニティ活動の成果・効果

6

- 課題と今後の方向性

8月は十和田市いのちを守る運動月間

初めてセーフコミュニティの認証取得した8月を「いのちを守る運動月間」と位置づけ、広報紙や市内のスーパーでチラシを配布し、「尊いいのちを大事にしよう」と呼びかけている。
また、2023年から市役所内に対策部会の活動を紹介するパネル展示も行っている。

8月は「十和田市いのちを守る運動月間」です 〇まちづくり支援課 ☎51-6777

市では、2012年に初めてセーフコミュニティ（SC）の認証を受けた8月を「十和田市いのちを守る運動月間」としています。SCは「事故やけがは予防できる」という考えに基づき、事故やけがのデータを集め、分析しながら、地域住民や各種団体、行政が一体となって予防に取り組む活動です。今回は、皆さんも取り組める「いのちを守る行動」をご紹介します。

■「ハンド&サンクス」で安全横断！！

横断歩道は歩行者優先ですが、青森県の「信号機のない横断歩道での車の一時停止率」は、全国ワースト3位の14.0%（全国平均30.6%、2021年JAF調べ）です。運転手は、横断者がいたら必ず停止をしましょう。

また、歩行者は横断の意思表示（ハンド）と止まった車への感謝（サンクス）を伝える「ハンド&サンクス」で、安全横断を心掛けましょう。

※「ハンド&サンクス」は、青森県警察が取り組んでいる交通安全スローガンです。



■「どうしたの？」「ありがとう」の声掛け

新型コロナウイルスの感染拡大により、学校や職場などで不安やストレスを感じる人も多いと思います。元気がない人に「どうしたの？」、何かをしてもらったら「ありがとう」と、友達や同僚に声掛けをしてみましょう。

「とわだセーフコミュニティをみんなですすめ隊」では、SCの取り組みを子どもたちに伝えるため、市内在住のクラフト作家「miu.labo」がデザインしたキャラクターによる声掛けうちわを製作し、啓発活動を行っています。



子どもから大人まで、一人一人の小さな行動が、みんなのいのちを守るセーフコミュニティ【安全・安心なまちづくり】につながります！



▲スーパーでの啓発（2020年、2021年）



▲パネル展示（2023年）

安全・安心なまちづくり総決起大会



- ①リトルジャンプチーム（小学生）による発表
- ②セーフコミュニティ対策部会による活動報告
- ③高齢者向けの健康体操を体験
- ④JISCによる講演

セーフコミュニティの啓発活動



◀セーフコミュニティのイメージソングに合わせて「自宅で楽しく歌体操」を紹介

1

- 十和田市の概要

2

- セーフコミュニティの歩み

3

- 6つの指標に基づく取組

4

- セーフコミュニティの啓発活動

5

- **セーフコミュニティ活動の成果・効果**

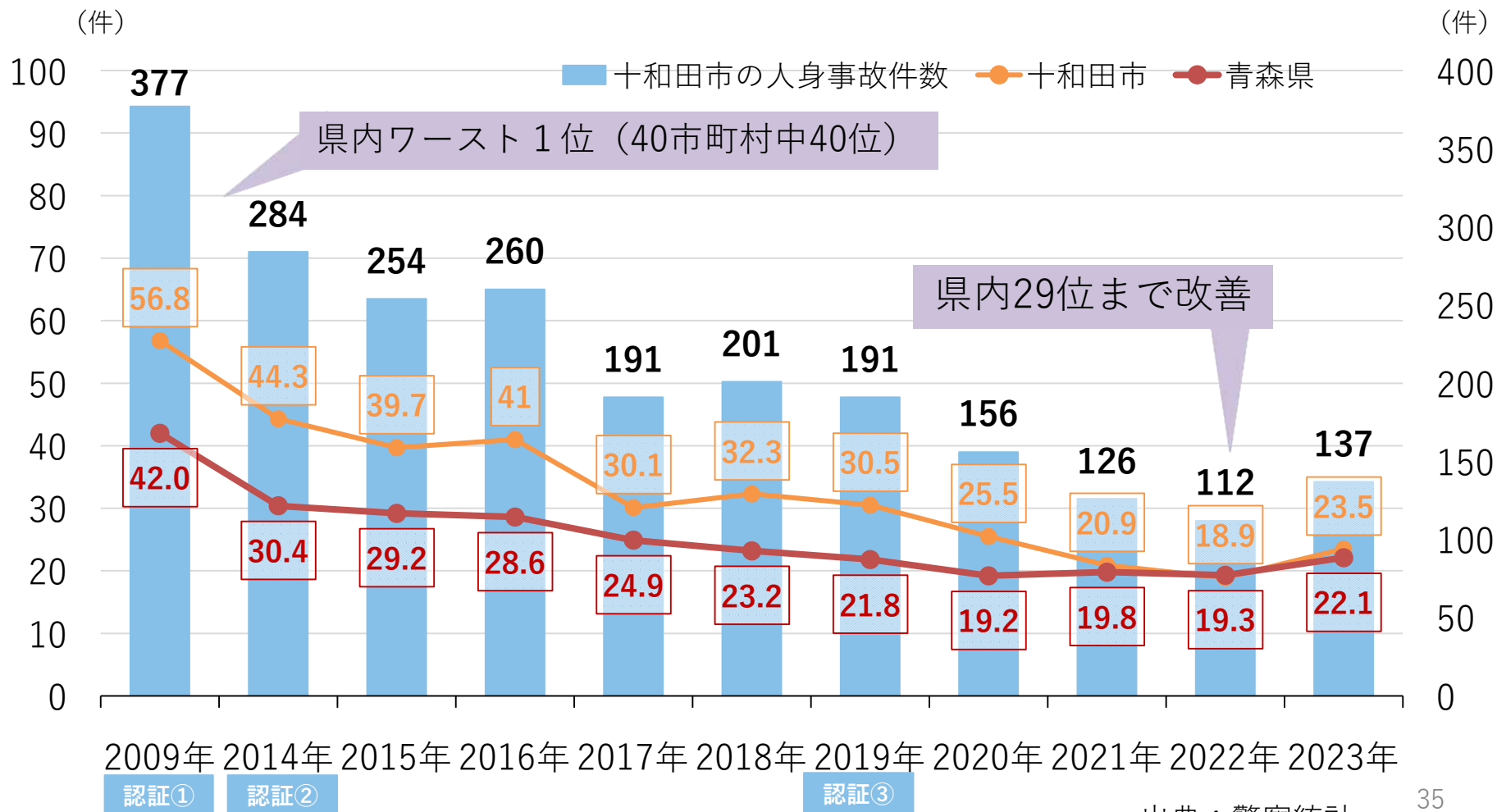
6

- 課題と今後の方向性

交通事故発生件数の大幅な減少

発生件数は年々減少し、青森県の平均を下回る。

■交通事故発生件数の推移（1万人あたり）



出典：警察統計

近年は18歳未満の不慮の事故等による死亡者はゼロ

前回の認証以降、18歳未満の死亡者が発生していない。

■不慮の事故等による年代別死亡者数

死亡原因	合計 n = 260	2014～2018年【認証③】			合計 n = 210	2019年～2022年		
		0～17歳	18～64歳	65歳以上		0～17歳	18～64歳	65歳以上
不慮の事故	157人(60.4%)	3人	33人	121人	126人(60.0%)		25人	101人
窒息	53人(20.4%)	1人	8人	44人	29人(13.8%)		6人	23人
交通事故	28人(10.8%)	1人	11人	16人	16人(7.6%)		5人	11人
転倒・転落	20人(7.7%)		3人	17人	21人(10.0%)		2人	19人
溺死	25人(9.6%)	1人	6人	18人	25人(11.9%)		2人	23人
煙及び火炎 への曝露	6人(2.3%)		0人	6人	8人(3.8%)		1人	7人
有害物質 による中毒	4人(1.5%)		1人	3人	0人(0%)		0人	0人
その他の 不慮の事故	21人(8.1%)		4人	17人	27人(12.9%)		9人	18人
自殺	80人(30.8%)	1人	44人	35人	56人(26.7%)		33人	23人
他殺	1人(0.4%)		0人	1人	3人(1.4%)		1人	2人
その他の外因	22人(8.5%)		3人	19人	25人(11.9%)		1人	24人

県立高校によるセーフコミュニティ活動

令和3年安全功労者 内閣総理大臣表彰を受賞

県立十和田西高等学校が安全・安心な学校を目指して取り組む「セーフコミュニティをすすめ隊研究活動」などが安全教育の推進に多大な貢献をしたと評価される。



総合的な探究活動の授業で セーフコミュニティを導入

2021年4月に開校した県立三本木農業恵拓高等学校 普通科1年生の授業に「セーフコミュニティ活動」を取り入れ、生徒が自主的に課題解決に向けて取り組んでいる。



1

- 十和田市の概要

2

- セーフコミュニティの歩み

3

- 6つの指標に基づく取組

4

- セーフコミュニティの啓発活動

5

- セーフコミュニティ活動の成果・効果

6

- 課題と今後の方向性

課題と今後の方向性

課題

- ①専門家の会議参加に係る負担が大きいこと。
- ②対策部会員の間でセーフコミュニティ活動の認識に温度差が生まれていること。
- ③2009年から継続してきた対策部会の体制では、取り組みが非効率となっていること。

今後の方向性

- ① I T 技術の活用
 - ➡リモート会議の活用による参加者の負担軽減
 - ➡他自治体との情報交換
- ②持続可能な取り組み体制を構築
 - ➡地域診断の実施
 - ➡対策部会の再編を検討



ご清聴ありがとうございました

今日も無事でいてほしい



十和田市セーフコミュニティ推進マーク

「十」 十和田市の安全な街並み、
「和」 美しい郷土・十和田湖と紅葉、
「田」 人々の協働・交流・絆を表現